

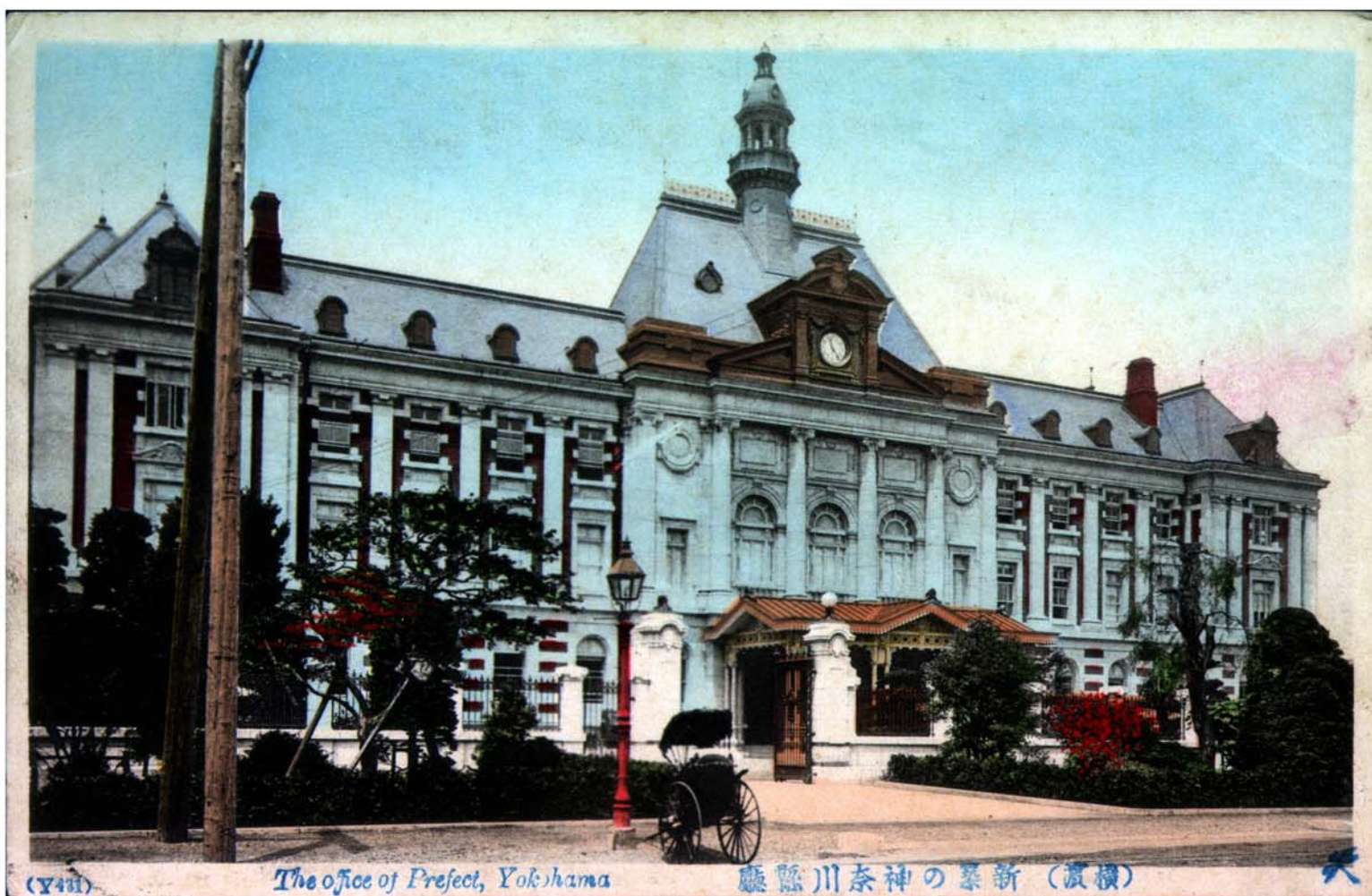
●神奈川県庁

明治三年（一八七〇）、神奈川県庁は神奈川県庁と改称した。三代目となる庁舎は、大正二年（一九一三）に完成した。

震災に際しても建物は崩壊しなかったが、時をおかずに市内に発生した火災により、当日午後三時半ごろ出火、およそ二時間後に全焼した。午後二時半には、安河内麻吉知事以下が横浜公園に退避した。同日夕刻、警察部長は、横浜港内に停泊中のコレア丸にこぎつけ、同船から無線を通じ大阪府、兵庫県、その他各所へ救援を求めた。

翌二日、海外渡航検査所を仮事務所として、県の幹部職員が集合、救援活動を開始した。大正一三年六月、岡野町に仮県庁舎を建築・移転した。

現在の県庁本館は、昭和三年（一九二八）一〇月に完成、正面中央の塔は「キング」の名で市民に親しまれている。



震災前：絵葉書「（横浜）新築の神奈川県庁 The office of Prefect, Yokohama」



震災：紙焼き写真「神奈川県庁」（『横浜震災被害写真帖』所収）



復興：絵葉書「（大横浜名所）神奈川県庁 Prefectural Office Yokohama」